

第2回 先端深海観測技術フォーラム

～日の丸海中調査産業。グローバル化？ガラパゴス化？～

2017年3月17日(金)

ホテル日航高知旭ロイヤル
(高知県高知市九反田9-15)

駐車場に限りがありますのでなるべく公共交通機関をご利用ください。

参加費

無料

(事前登録制)

海底資源や水産資源の開発・保全に向け、海中プラットフォームや現場型化学・生物センシング技術の開発が進む。日の丸海中調査産業のグローバルスタンダード達成に向け、国内外の現状(研究・開発・販売・使用状況)を考えて、今後目指すべきアウトプットは、世界最高標準(ナンバーワン)か、日本式“おもてなし”によるガラパゴス化(オンリーワン)か。本フォーラムでは、産官学それぞれの先生方によるご講演をいただき、今後の開発研究の発展に向けて議論を深めて参ります。

- 主催： ・文部科学省受託研究「海洋鉱物資源広域探査システム開発」
ウオーターカラム計測(代表機関：高知大学)
・一般財団法人生産技術研究奨励会「先端深海観測技術研究会(代表機関：東京大学)」
- 協力： ・内閣府戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)
次世代海洋資源調査技術(海のジパング計画)研究開発課題「潜頭性熱水鉱床の規模・品位探査に資する物理化学・生物観測技術の創出(代表機関：高知大学)」
・高知県産学官連携産業創出研究推進事業採択事業「持続可能な海底鉱物・エネルギー資源開発に資する海中現場観測機器・運用システムの開発(代表機関：高知大学)」
- 司会： 森木めぐみ

申し込みは下記URLより
お願いいたします。

<http://kaiyo-ishin.com>

<プログラム>

- 【13:00～13:05】 開会挨拶
【13:05～13:20】 開催趣旨説明 高知大学教授、株式会社海洋計測代表取締役 岡村 慶

第1部

- 【13:20～13:50】 SIP(海のジパング)が考える海底資源産業化へ向けたシナリオ
東京大学名誉教授、SIP次世代海洋資源調査技術PD 浦辺 徹郎
- 【13:50～14:20】 JOGMECによる海洋鉱物資源開発の商業化に向けた取り組み
独立行政法人 石油天然ガス・金属鉱物資源機構、
金属資源技術部海洋資源技術課長 岡本 信行
- 【14:20～14:50】 民間企業が期待する海洋資源産業化シナリオ
一般社団法人海洋調査協会理事、川崎地質株式会社顧問 久保田 隆二

- 【14:50～15:30】 コーヒーブレイク(名刺交換会)

第2部

- 【15:30～16:50】 総合討論:日の丸海中産業が目指す先はグローバル化かガラパゴス化か?
<話題提供>
・海中センサ産業化を考えて…動いてみた。
高知大学准教授、株式会社海洋計測取締役 野口 拓郎
・産官学を俯瞰した海洋資源産業化シナリオ
海底地形総図(GEBCO)指導委員会委員長、東洋建設株式会社顧問 谷 伸
- <パネルディスカッション>モデレーター
東京大学生産技術研究所長、一般財団法人生産技術研究奨励会
「先端深海観測技術研究会」代表幹事 藤井 輝夫

- 【16:50～17:00】 閉会挨拶 高知大学学長 脇口 宏

講演内容及び登壇予定者は今後変更の可能性がございます。

フォーラム終了後、17:30より同ホテルにて情報交換会を行います(事前登録制・会費制(¥2,000))

お問い合わせ 第2回先端深海観測技術フォーラム事務局
電話:088-864-6721, E-mail: vhms.develop@gmail.com